

図 15 保育所、幼稚園利用の割合

表 26 から表 27 と図 16 から図 17 は出産前後の教室、集団活動などの利用の有無に関する回答結果である。出産前には 6 割弱が何らかの活動に参加しており、出産後には 7 割近くが何らかの活動に参加している。

表 26

出産前の教室等参加の割合

出産前プレママ教室の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	500	52.1	53.2	53.2
	当てはまる	440	45.8	46.8	100.0
	合計	940	97.9	100.0	
欠損値	99	20	2.1		
合計		960	100.0		

出産前父親教室の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	646	67.3	68.7	68.7
	当てはまる	294	30.6	31.3	100.0
	合計	940	97.9	100.0	
欠損値	99	20	2.1		
合計		960	100.0		

出産前その他の教室の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	917	95.5	97.6	97.6
	当てはまる	23	2.4	2.4	100.0
	合計	940	97.9	100.0	
欠損値	99	20	2.1		
合計		960	100.0		

出産前教室利用なし					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	549	57.2	58.4	58.4
	当てはまる	391	40.7	41.6	100.0
	合計	940	97.9	100.0	
欠損値	99	20	2.1		
合計		960	100.0		

表 27

出産後の教室等参加の割合

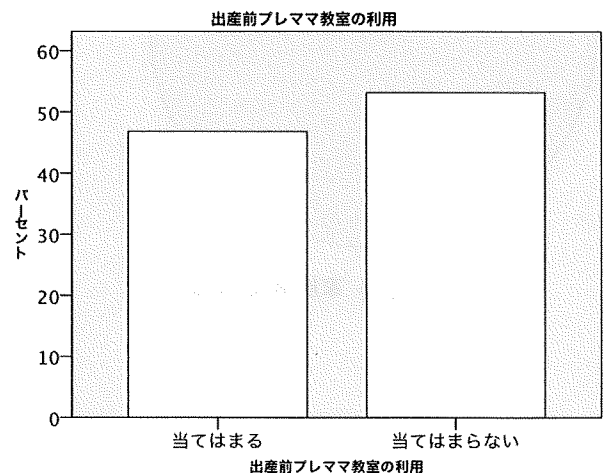
出産後育児相談の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	576	60.0	61.0	61.0
	当てはまる	369	38.4	39.0	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	15	1.6		
合計		960	100.0		

出産後集団活動の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	410	42.7	43.4	43.4
	当てはまる	535	55.7	56.6	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	15	1.6		
合計		960	100.0		

出産後離乳食教室、歯科衛生の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	577	60.1	61.1	61.1
	当てはまる	368	38.3	38.9	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	15	1.6		
合計		960	100.0		

出産後その他の教室の利用					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	912	95.0	96.5	96.5
	当てはまる	33	3.4	3.5	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	15	1.6		
合計		960	100.0		

出産後利用なし					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまら	695	72.4	73.5	73.5
	当てはまる	250	26.0	26.5	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	15	1.6		
合計		960	100.0		



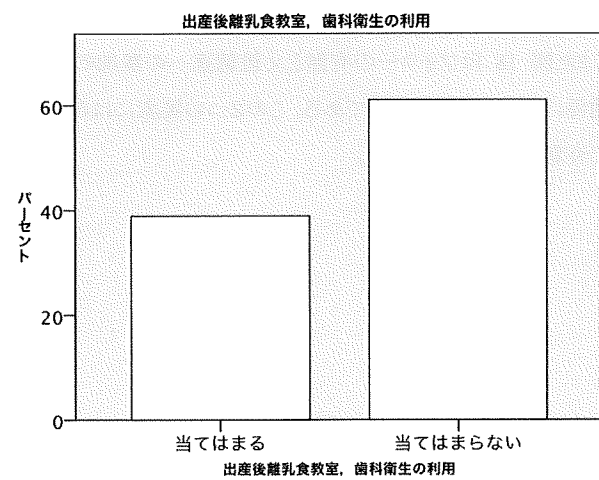
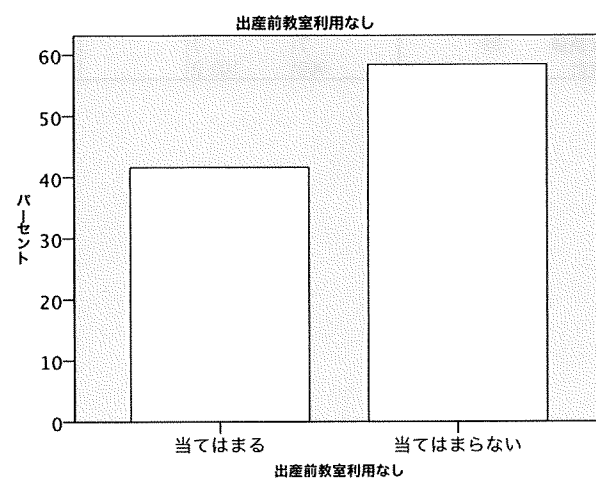
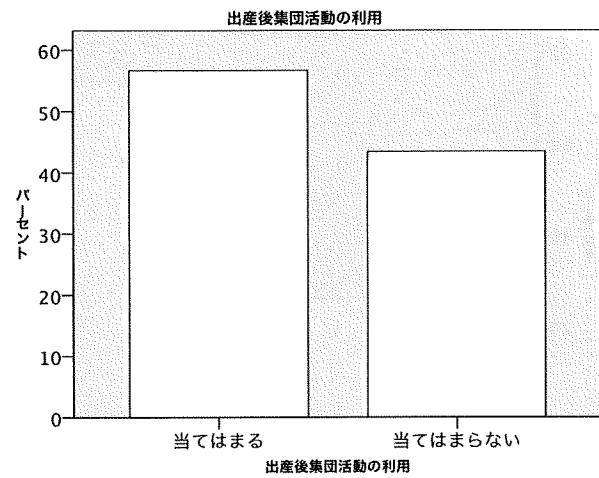
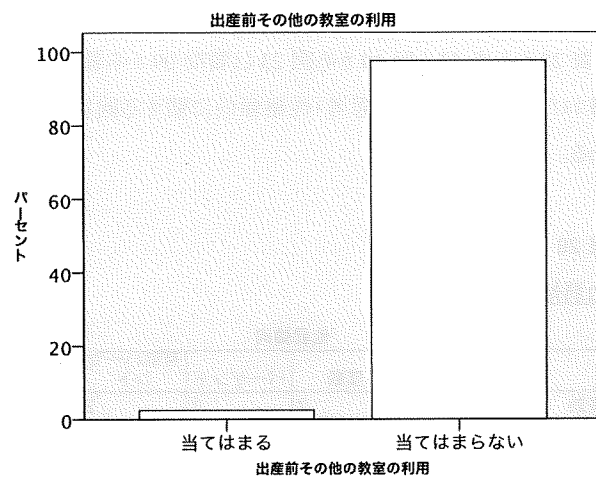
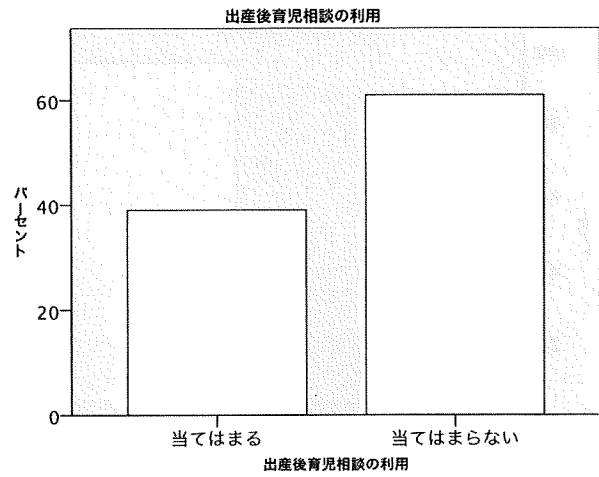
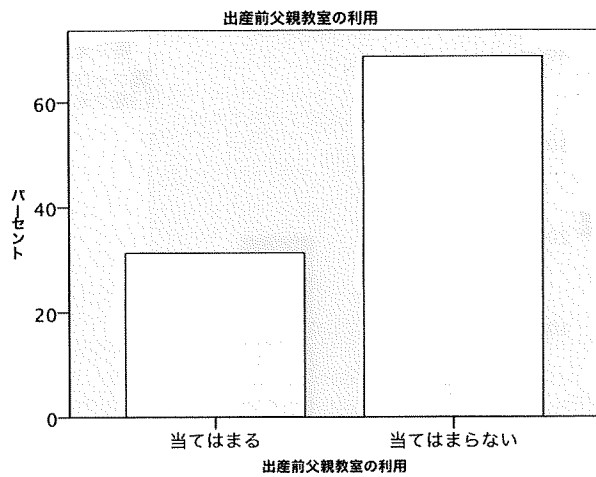


図 16 出産前の教室等参加の割合

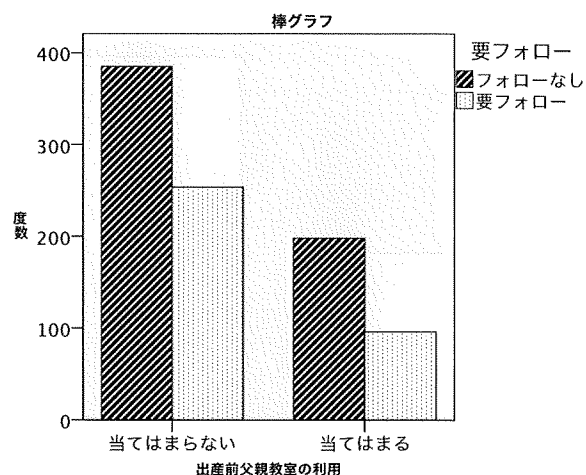
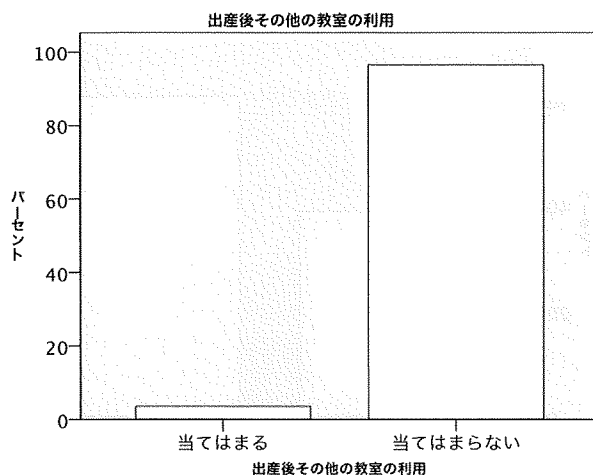


図 18 父親教室への参加とフォローの有無

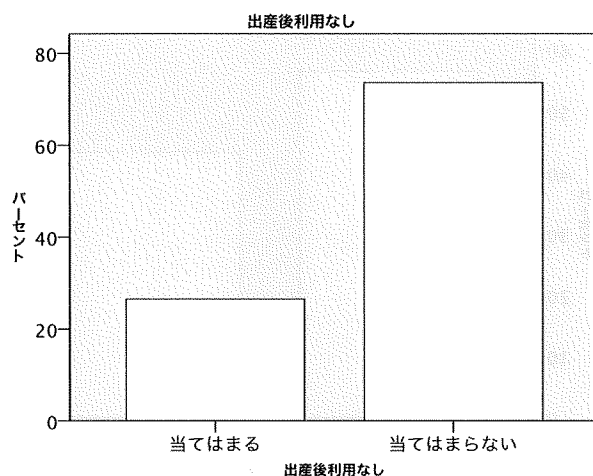


図 17 出産後の教室等参加の割合

また図 18 はフォローの有無と父親教室への参加の有無の関係について示したものである。この2つの要素には5%水準で有意な関係がみられた。

表 28 から表 32 と図 19 から図 23 は質問 09 から質問 13 で尋ねた、調査協力者の思考・性格傾向に関する回答結果である。

表 28

他罰傾向

		他罰傾向			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	2	.2	.2	.2
	6	12	1.3	1.3	1.5
	5	49	5.1	5.1	6.6
	4	424	44.2	44.5	51.1
	3	273	28.4	28.6	79.7
	2	157	16.4	16.5	96.2
	1	36	3.8	3.8	100.0
	合計	953	99.3	100.0	
欠損値	99	7	.7		
合計		960	100.0		

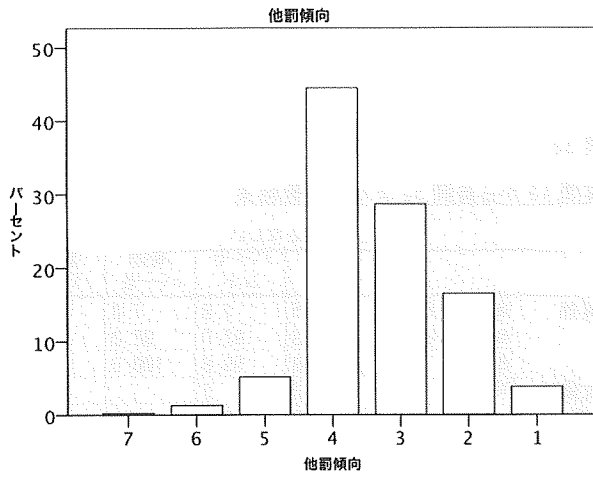


図 19 他罰傾向

表 29

問題解決思考

		問題解決思考			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	13	1.4	1.4	1.4
	6	28	2.9	2.9	4.3
	5	121	12.6	12.7	17.0
	4	203	21.1	21.3	38.3
	3	259	27.0	27.2	65.5
	2	225	23.4	23.6	89.1
	1	104	10.8	10.9	100.0
	合計	953	99.3	100.0	
欠損値	99	7	.7		
合計		960	100.0		

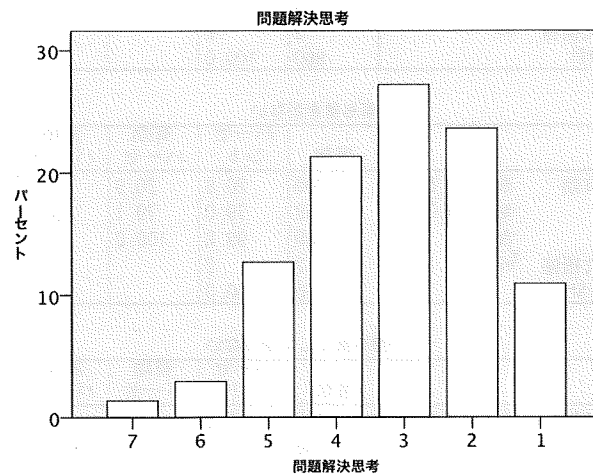


図 20 問題解決思考

表 30

被援助志向

		被援助志向			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	49	5.1	5.1	5.1
	6	120	12.5	12.6	17.7
	5	164	17.1	17.2	34.9
	4	210	21.9	22.0	57.0
	3	167	17.4	17.5	74.5
	2	162	16.9	17.0	91.5
	1	81	8.4	8.5	100.0
	合計	953	99.3	100.0	
欠損値	99	7	.7		
合計		960	100.0		

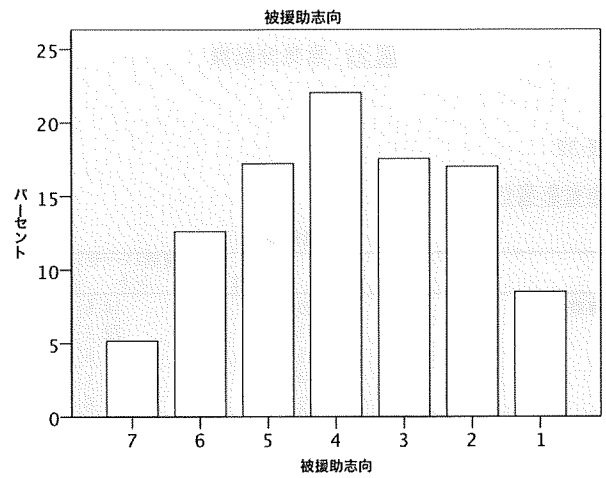


図 21 被援助志向

表 31

易気分転換

		易気分転換			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	28	2.9	2.9	2.9
	6	85	8.9	8.9	11.9
	5	121	12.6	12.7	24.6
	4	155	16.1	16.3	40.8
	3	193	20.1	20.3	61.1
	2	205	21.4	21.5	82.6
	1	166	17.3	17.4	100.0
	合計	953	99.3	100.0	
欠損値	99	7	.7		
合計		960	100.0		

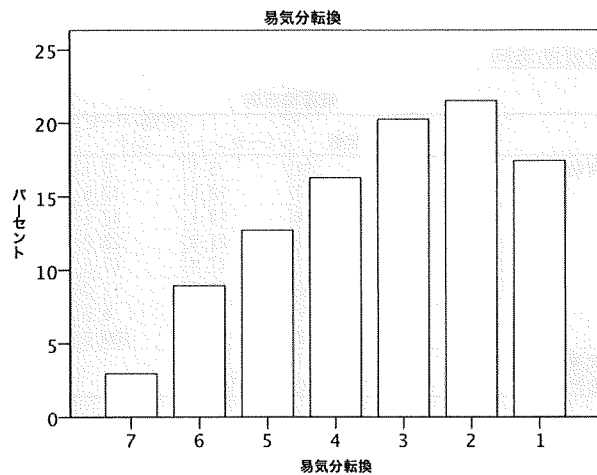


図 22 易気分転換

表 32

他者影響性

		他者影響性			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	139	14.5	14.6	14.6
	6	211	22.0	22.1	36.7
	5	215	22.4	22.5	59.2
	4	154	16.0	16.1	75.4
	3	122	12.7	12.8	88.2
	2	87	9.1	9.1	97.3
	1	26	2.7	2.7	100.0
合計		954	99.4	100.0	
欠損値	99	6	.6		
合計		960	100.0		

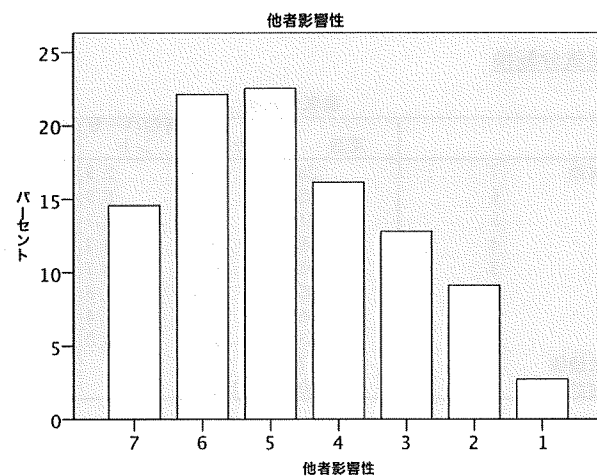


図 23 他者影響性

表 33 と図 24 は質問 13 から質問 52 までの回答結果である。

表 33

質問 13 から質問 52 までの回答結果

		子どもがおとなしい			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	75	7.8	7.8	7.8
	当てはまらない	883	92.0	92.2	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

		気が散りやすく遊びに集中できない			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	185	19.3	19.3	19.3
	当てはまらない	773	80.5	80.7	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

		知らない場所やものに慣れない			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	251	26.1	26.2	26.2
	当てはまらない	707	73.6	73.8	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

		意味がわからない音や叫び声を出す			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	83	8.6	8.7	8.7
	当てはまらない	875	91.1	91.3	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

		落ち着きがない			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	200	20.8	20.9	20.9
	当てはまらない	758	79.0	79.1	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

		人の話を集中して聞けない			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	162	16.9	16.9	16.9
	当てはまらない	796	82.9	83.1	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

目に入ったものにとられる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	198	20.6	20.7
	当てはまらない	760	79.2	79.3
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

順番が待てない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	171	17.8	17.8
	当てはまらない	787	82.0	82.2
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

初めての人に弱い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	375	39.1	39.1
	当てはまらない	583	60.7	60.9
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

不器用である

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	117	12.2	12.2
	当てはまらない	841	87.6	87.8
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

子育てを背負わされていると感じる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	58	6.0	6.1
	当てはまらない	900	93.8	93.9
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

地域の中で暮らしにくい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	109	11.4	11.4
	当てはまらない	849	88.4	88.6
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

経済的に苦しい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	272	28.3	28.4
	当てはまらない	686	71.5	71.6
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

健診で子どもをきちんと見てもらえるか不安である

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	66	6.9	6.9
	当てはまらない	892	92.9	93.1
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

子どもの比較に意味はないと思う

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	225	23.4	23.5
	当てはまらない	733	76.4	76.5
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

自由な時間がない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	303	31.6	31.6
	当てはまらない	655	68.2	68.4
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

健診で子どもに何か言われるかと不安である

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	82	8.5	8.6
	当てはまらない	876	91.3	91.4
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

育児のことで身内や知り合いから干渉されたくない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	101	10.5	10.5
	当てはまらない	857	89.3	89.5
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

育児のことで健診スタッフに干渉されたくない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	20	2.1	2.1
	当てはまらない	938	97.7	97.9
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

子育てを手伝ってくれる人がいない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	100	10.4	10.4
	当てはまらない	858	89.4	89.6
	合計	958	99.8	100.0
欠損値	99	2	.2	
合計		960	100.0	

今日の健診の内容の一部を調べている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	44	4.6	4.6	4.6
	当てはまらない	914	95.2	95.4	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

今日の健診の練習を行っている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	168	17.5	17.5	17.5
	当てはまらない	790	82.3	82.5	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

他のこと自分の子の成長を比べる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	274	28.5	28.6	28.6
	当てはまらない	684	71.3	71.4	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

地域の中で経済面での相談先がわからない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	260	27.1	27.1	27.1
	当てはまらない	698	72.7	72.9	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

地域の中で子育て援助の相談先がわからない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	197	20.5	20.6	20.6
	当てはまらない	761	79.3	79.4	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

家族の問題についての相談先がわからない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	221	23.0	23.1	23.1
	当てはまらない	737	76.8	76.9	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

健診スタッフに子どもや子育てについて聞きたい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	160	16.7	16.7	16.7
	当てはまらない	798	83.1	83.3	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子どもの成長に不安がある

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	99	10.3	10.3	10.3
	当てはまらない	859	89.5	89.7	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子育ての悩みを相談する相手がいない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	30	3.1	3.1	3.1
	当てはまらない	928	96.7	96.9	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子どもが普段の力を発揮してくれるか心配だ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	156	16.3	16.3	16.3
	当てはまらない	802	83.5	83.7	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子育てについての指摘が心配

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	46	4.8	4.8	4.8
	当てはまらない	912	95.0	95.2	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

しかるときにたいたりすることがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	482	50.2	50.3	50.3
	当てはまらない	476	49.6	49.7	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子どもと気が合わないと感じるときがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	62	6.5	6.5	6.5
	当てはまらない	896	93.3	93.5	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

だっこしたり手をつなぐ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	763	79.5	79.6	79.6
	当てはまらない	195	20.3	20.4	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

外に遊びに行く

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	575	59.9	60.0	60.0
	当てはまらない	383	39.9	40.0	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

ぐずったりする理由がわかる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	843	87.8	88.0	88.0
	当てはまらない	115	12.0	12.0	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子どもと一緒にいると楽しい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	794	82.7	82.9	82.9
	当てはまらない	164	17.1	17.1	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

配偶者が子どもとよく遊んでいる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	636	66.3	66.4	66.4
	当てはまらない	322	33.5	33.6	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

配偶者が家事をする

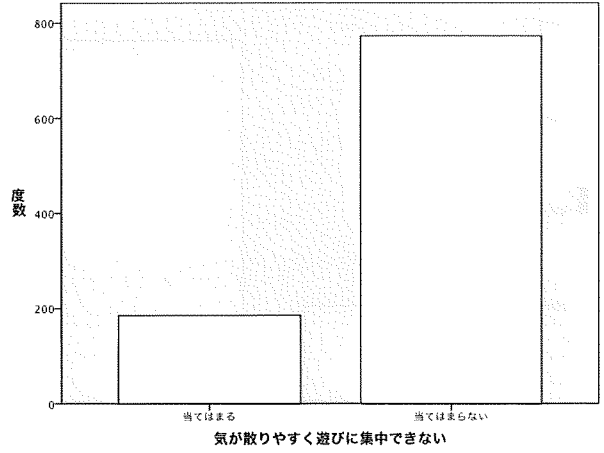
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	512	53.3	53.4	53.4
	当てはまらない	446	46.5	46.6	100.0
	合計	958	99.8	100.0	
欠損値	99	2	.2		
合計		960	100.0		

子どもがおとなしい



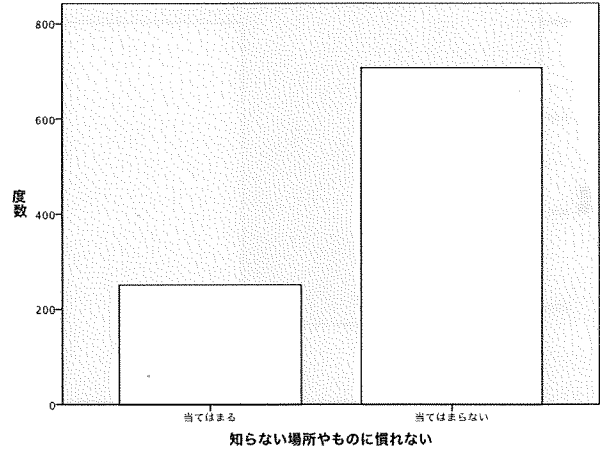
子どもがおとなしい

気が散りやすく遊びに集中できない



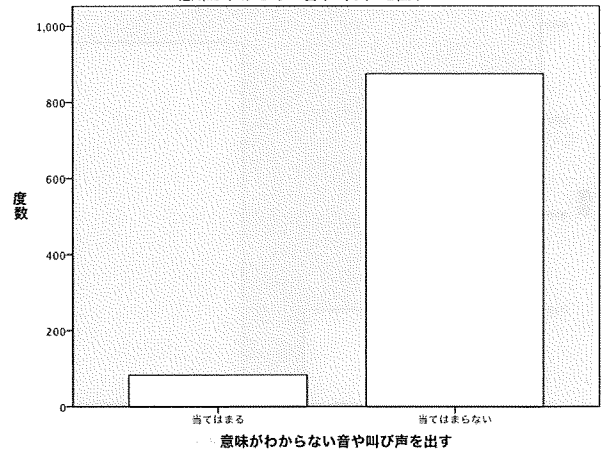
気が散りやすく遊びに集中できない

知らない場所やものに慣れない

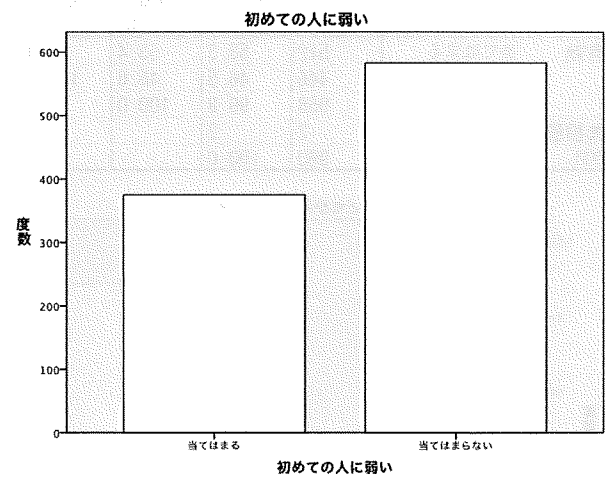
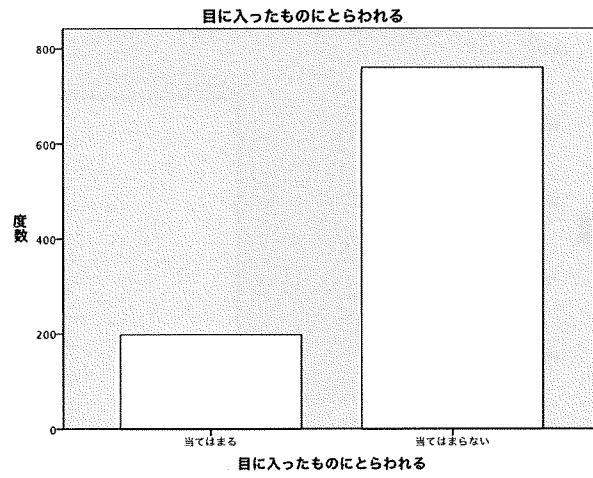
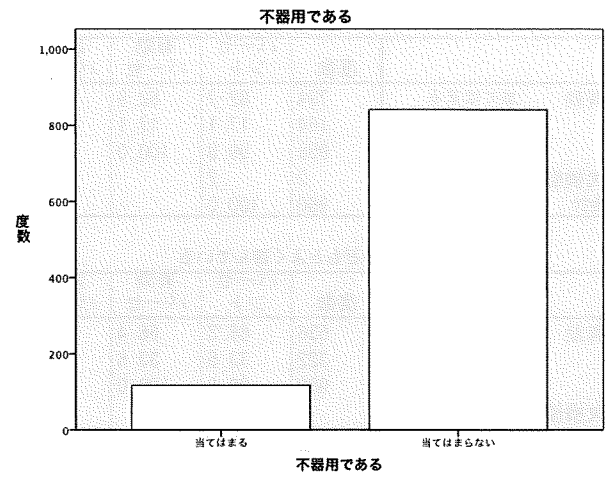
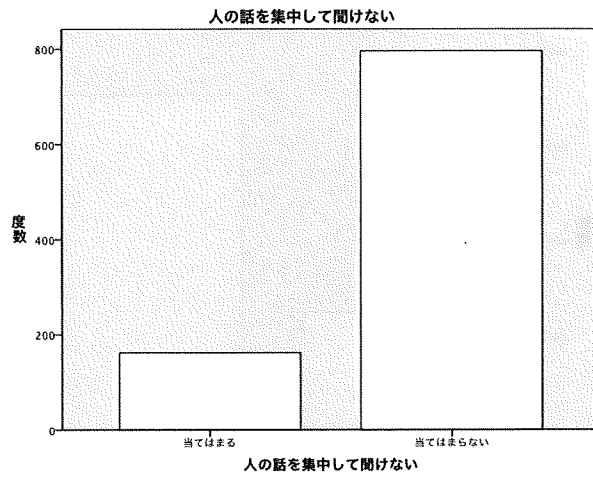
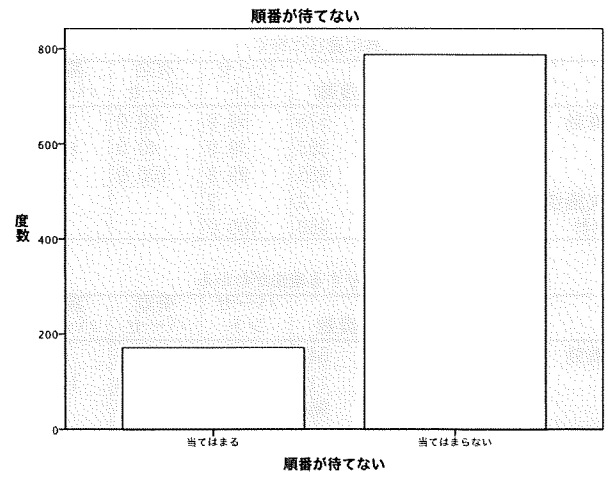
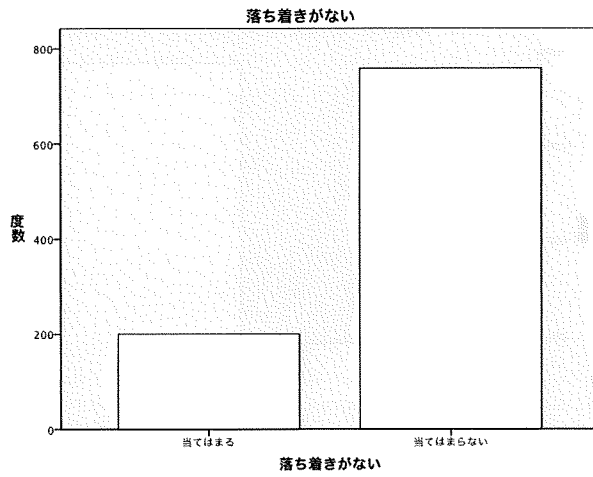


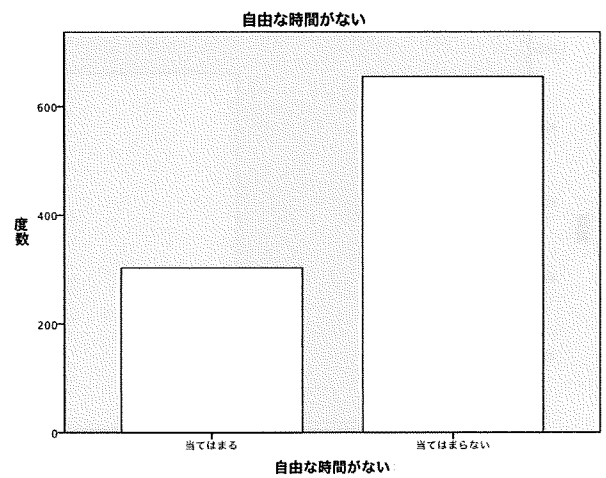
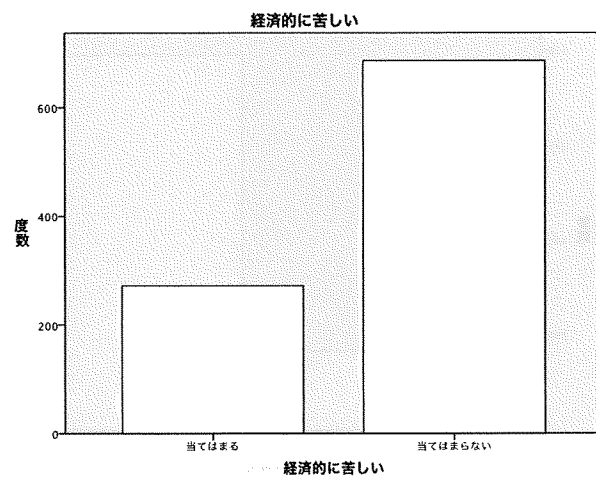
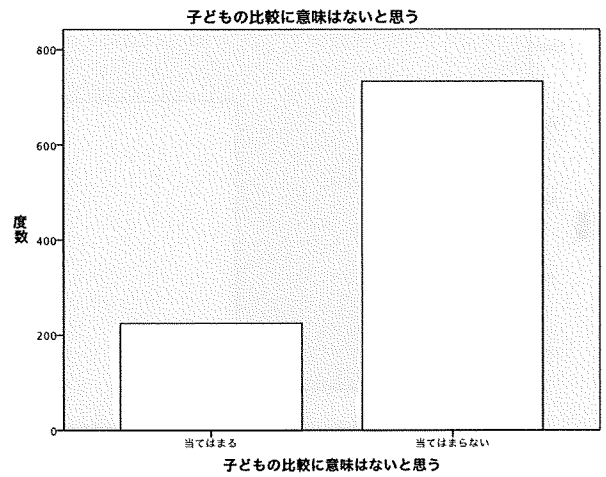
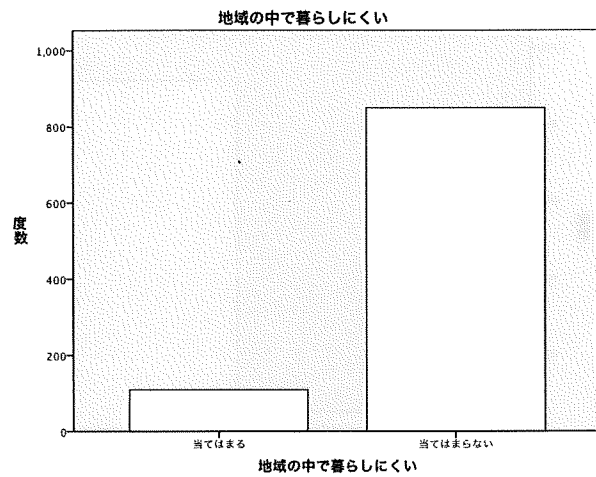
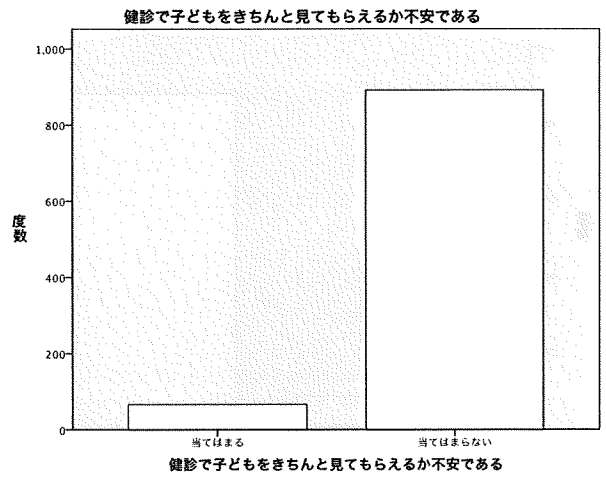
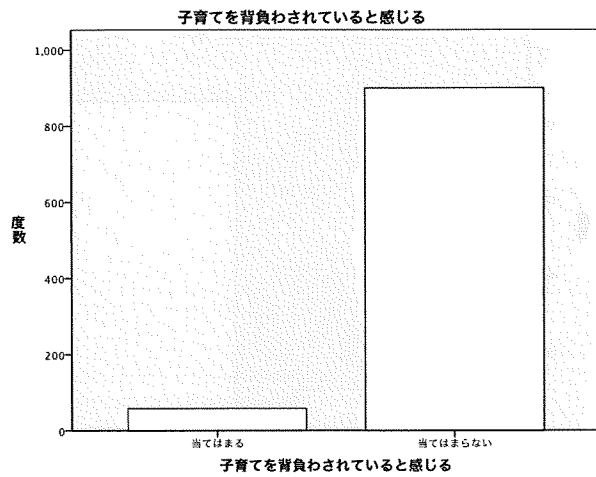
知らない場所やものに慣れない

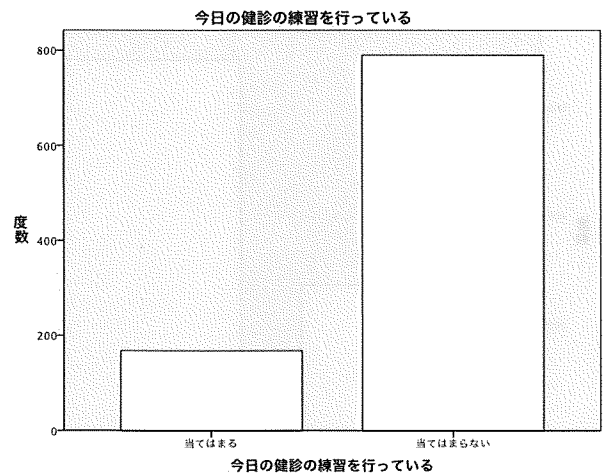
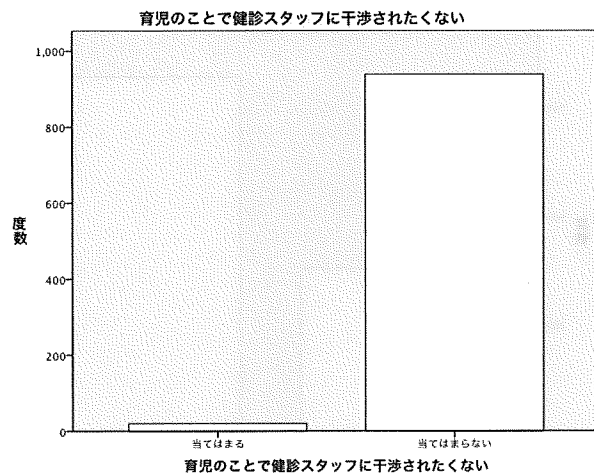
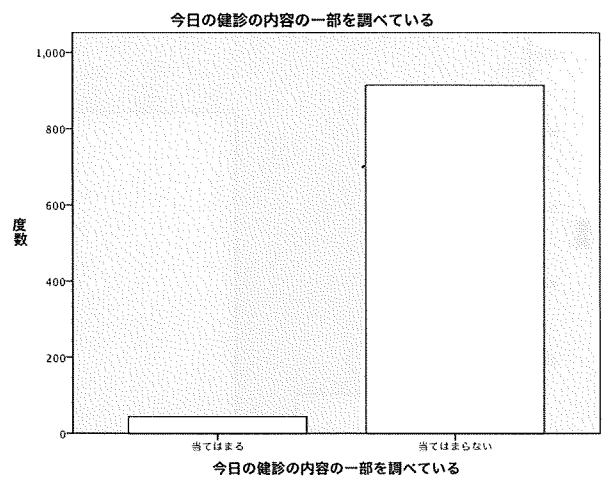
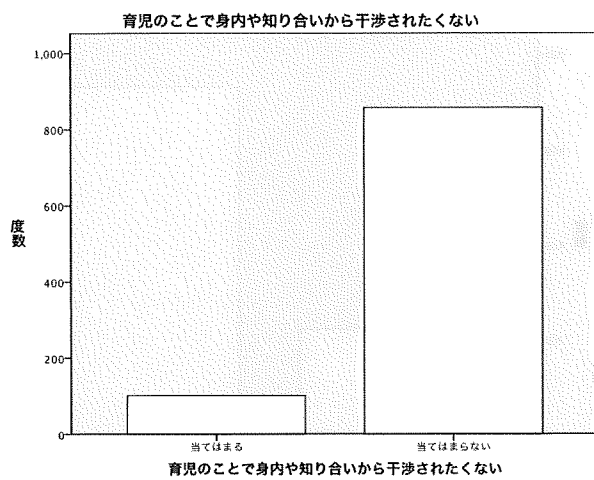
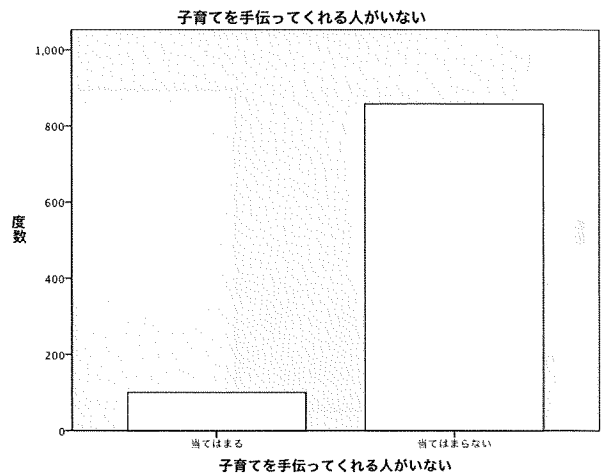
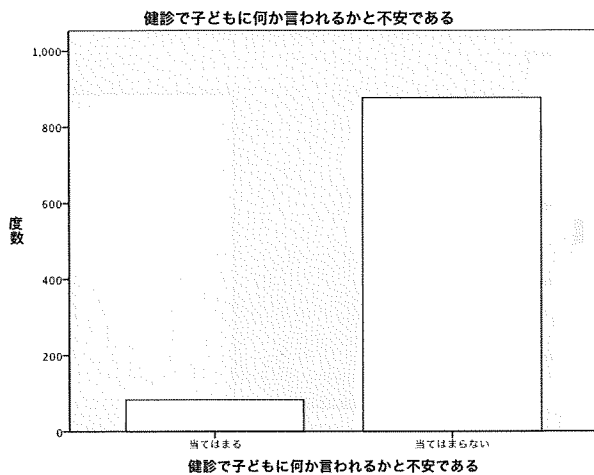
意味がわからない音や叫び声を出す

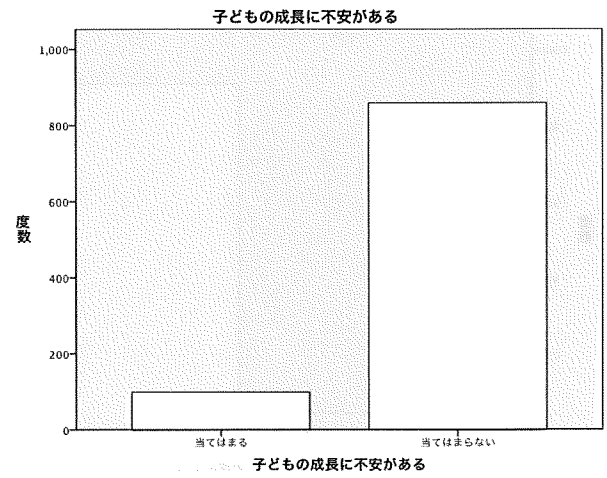
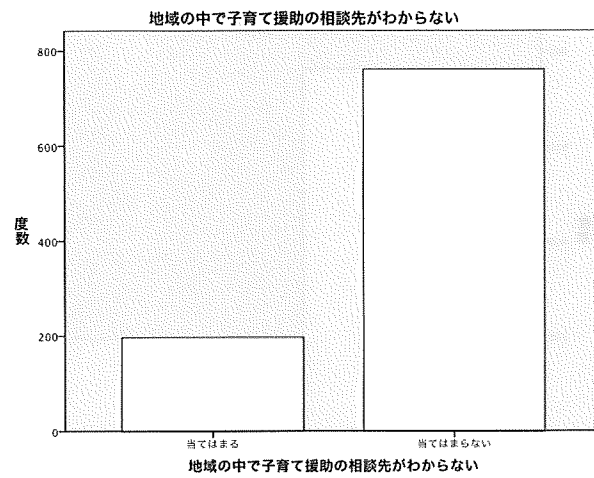
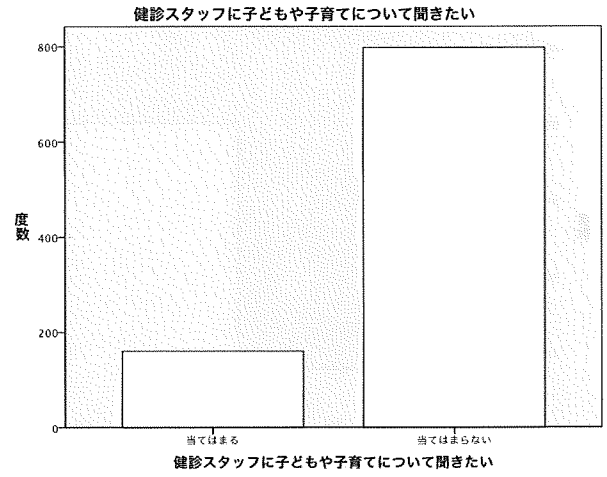
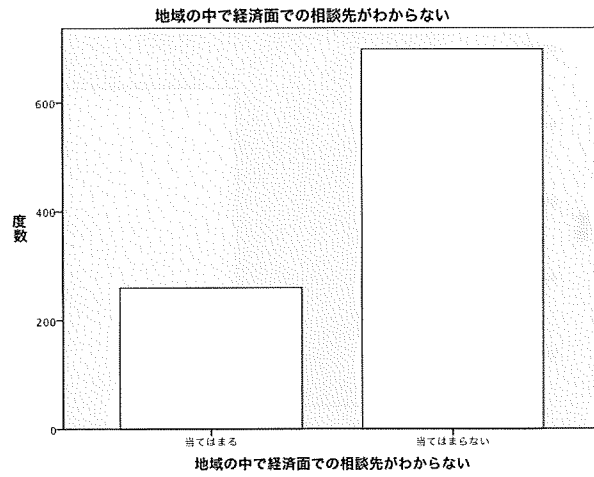
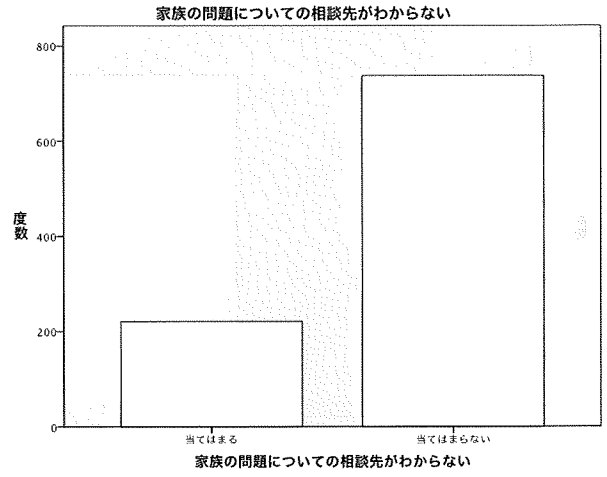
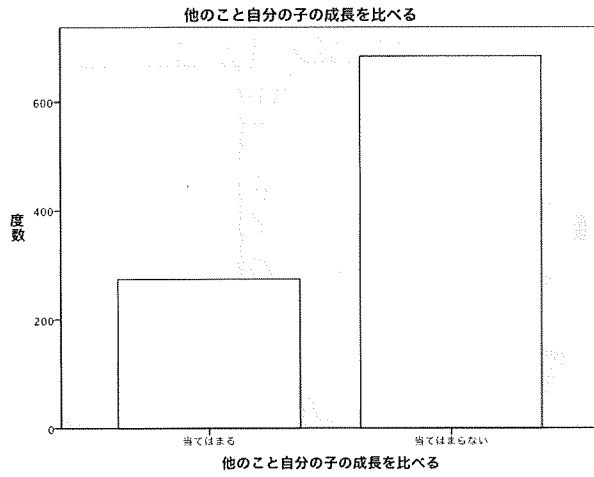


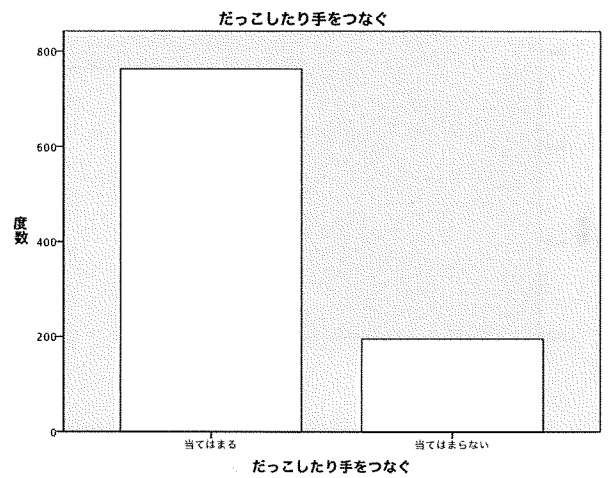
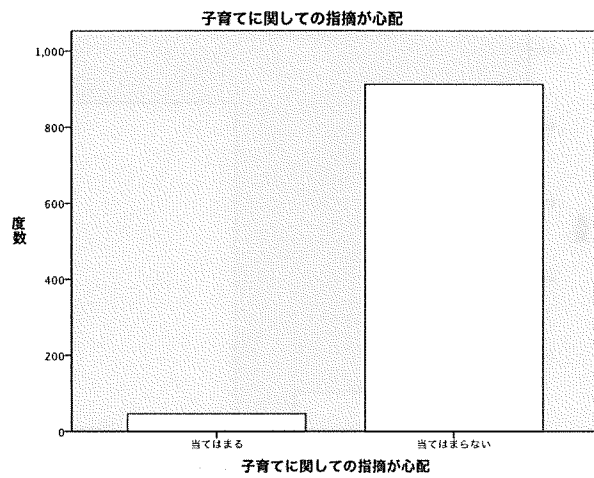
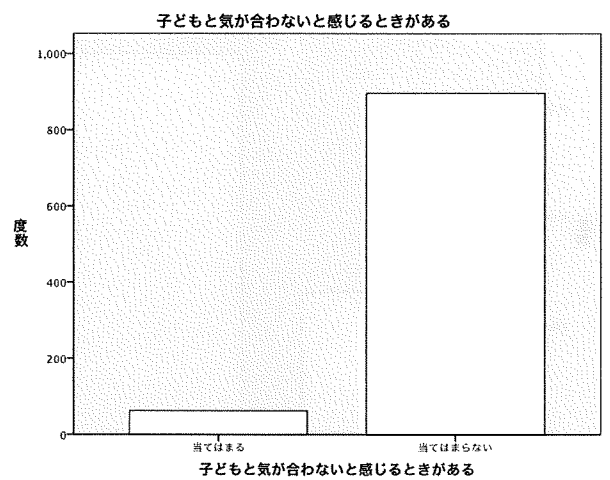
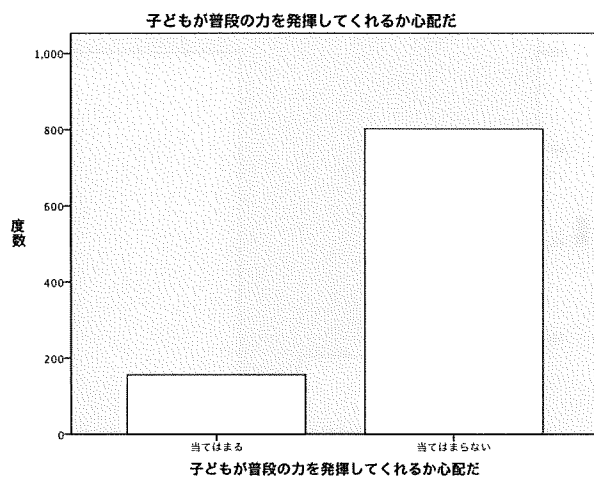
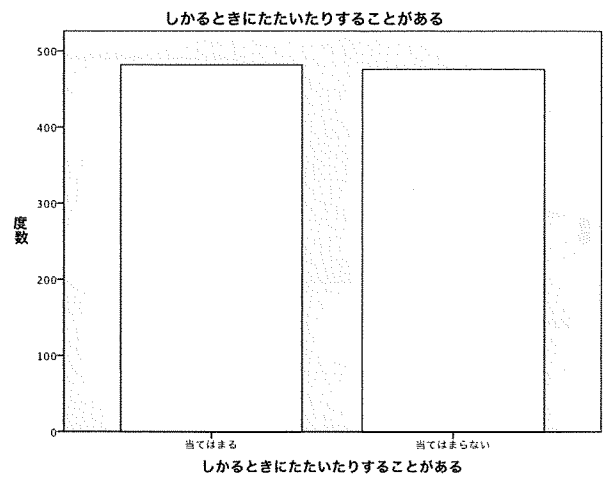
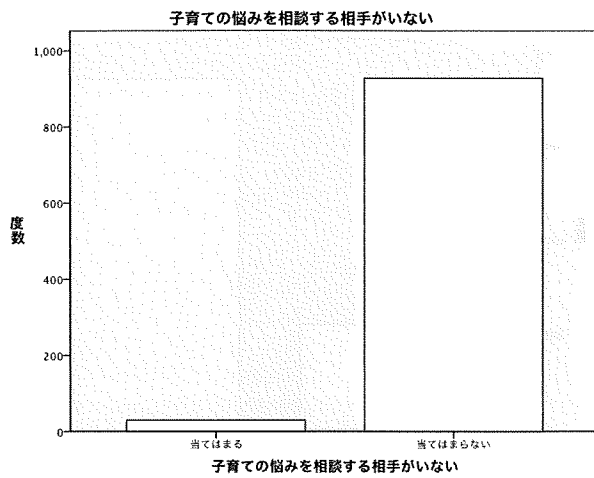
意味がわからない音や叫び声を出す











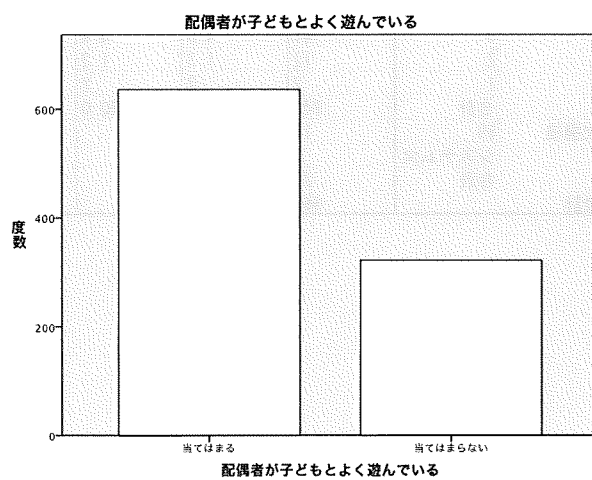
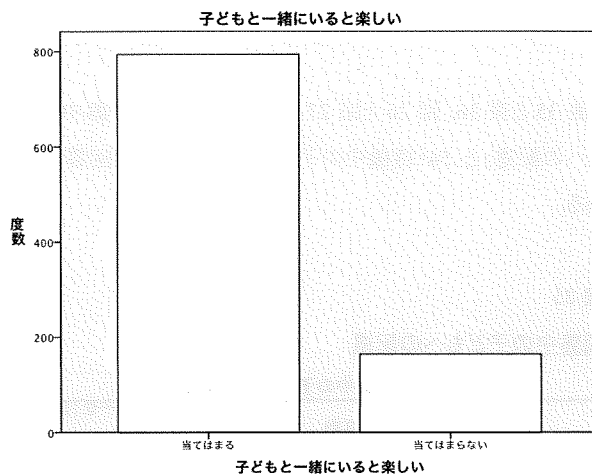
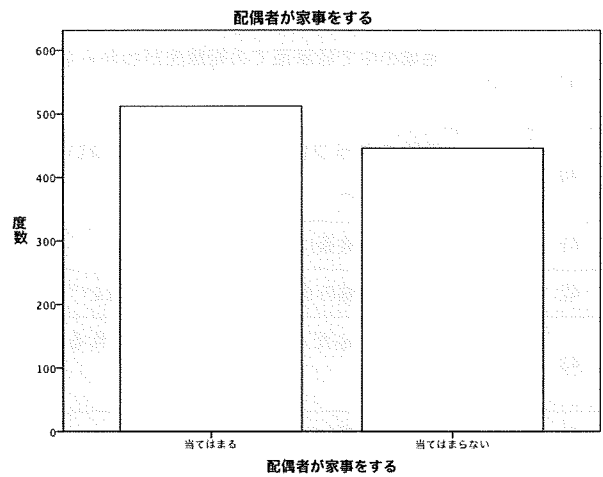
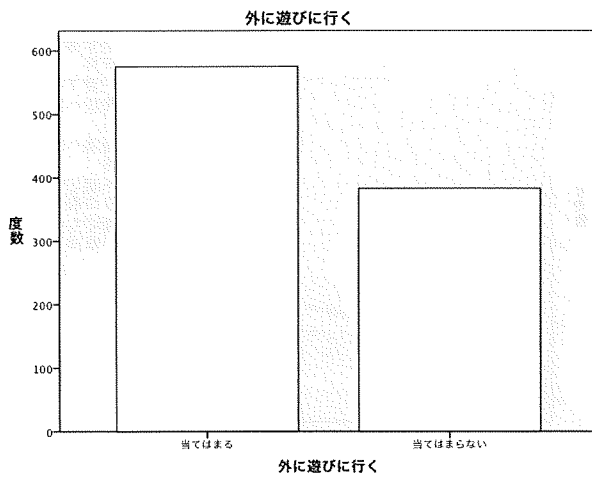


図 24 質問 13 から質問 52 までの回答結果

表 34 はフォローの有無と有意な関係のあった質問の一覧である。

表 34

フォローの有無と関連のある項目

番号	分類	設問内容
14	A 1	気が散りやすく遊びに集中できない※
17	A 1	意味がわからない音や叫び声を出す※※※
18	A 1	落ち着きがない※※※
19	A 1	人の話を集中して聞けない※※※
20	A 1	目に入ったものにとらわれる※※※
21	A 1	順番が待てない※※※
23	A 2	不器用である※※※
25	D	地域の中で暮らしにくい※
26	D	経済的に苦しい※※
27	C	健診で子どもをきちんとみてもらえるか不安である※※※
29	D	自由な時間がない※
30	C	今日の健診で子どもに何か言われるかと不安である※※※
31	B	育児のことで身内や知り合いから干渉されたくない※※
32	C	育のことで健診スタッフに干渉されたくない※※※

36	B	他の子と自分の子の成長を比べる***
37	D	地域の中で経済面での相談先がわからない* *
40	C	健診スタッフに子どもや子育てについて聞 きたい***
41	B	子どもの成長に不安がある***
42	B	子育ての悩みを相談する相手がいない***
43	C	子どもがふだんの力を発揮してくれるか心 配だ***
44	C	子育てについての指摘が心配***
45	E	しかるときにたいたりすることがある*
46	E	子どもと気が合わないと感じることがある*
48	F	外に遊びに行く***
49	F	ぐずったりする理由がわかる*
50	F	子どもと一緒にいると楽しい*
51	F	配偶者が子どもとよく遊んでいる***
52	F	配偶者が家事をする***

*p<.10, **p<.05, ***p<.01

この結果から、表 34 に示された項目は保健師が要フォローか否かを判断する上で、重要な役割を果たす情報であることが示唆された。

また各分類の合計の平均値をフォローの有無によって比較したものが図 25 である。グラフは全ての項目が要フォローの方が、点数が高くなる右肩上がりの形になっている(適切な関わりの有無だけは適切な関わりを数えるので、要フォローの群が少なくなっている)。T 検定の結果、フォローなし群と要フォロー群との間で各項目の平均値を比較すると、過緊張傾向の有無をのぞく全項目で、5%水準で有意差がみられ、フォロー群の不安が高かった。

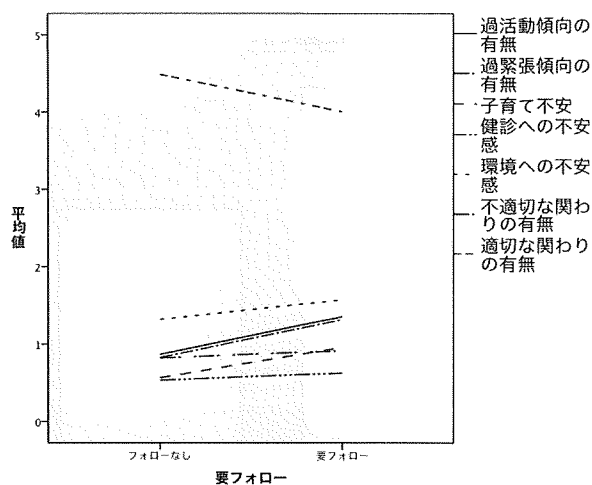


図 25 各分類の平均値のフォローの有無による差異

表 35 と表 36, 図 26 と図 27 はそれぞれ、53「問診中の子どもへの配慮」と 54「待機中の子どもへの関わり」の回答結果である。

表 35

問診中の子どもへの配慮

問診中の子どもへの配慮					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	163	17.0	17.3	17.3
	6	215	22.4	22.9	40.2
	5	210	21.9	22.3	62.6
	4	297	30.9	31.6	94.1
	3	41	4.3	4.4	98.5
	2	12	1.3	1.3	99.8
	1	2	.2	.2	100.0
	合計	940	97.9	100.0	
	欠損値	99	18	1.9	
システム欠		2	.2		
合計		20	2.1		
合計		960	100.0		

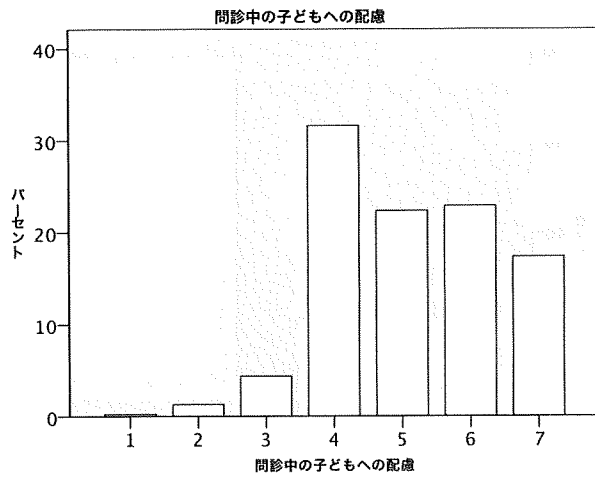


図 26 問診中の子どもへの配慮

表 36

待機中の子どもへの関わり

		待機中の子どもへの関わり			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	198	20.6	21.1	21.1
	6	194	20.2	20.7	41.8
	5	209	21.8	22.3	64.1
	4	279	29.1	29.7	93.8
	3	42	4.4	4.5	98.3
	2	13	1.4	1.4	99.7
	1	3	0.3	0.3	100.0
	合計	938	97.7	100.0	
欠損値	システム欠	20	2.1		
	合計	22	2.3		
合計		960	100.0		

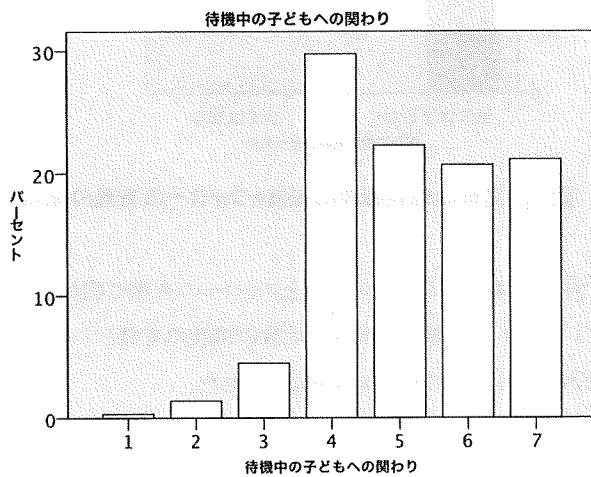


図 27 待機中の子どもへの関わり

また図 28 は 53「問診中の子どもへの配慮」の各回答とフォローの有無の関係を示している。カイ2乗検定の結果、4点、3点、2点の回答とフォローの有無に5%水準で有意な関係がみられた。

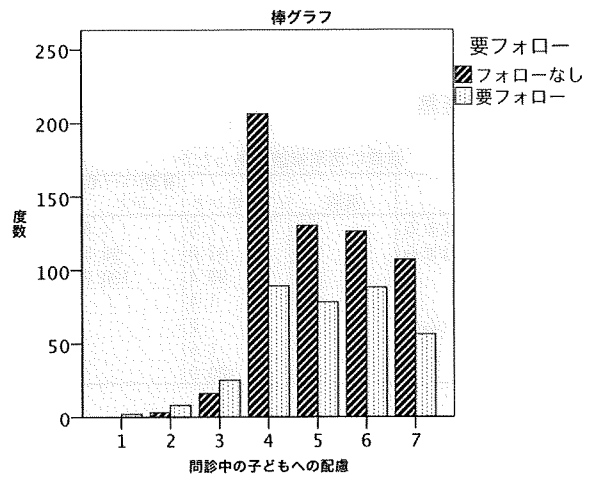


図 28 問診中の子どもへの配慮とフォロー有無の関係

図 29 は 54「待機中の子どもへの関わり」の各回答とフォローの有無の関係を示している。カイ2乗検定の結果、4点、3点、2点、1点の回答とフォローの有無に5%水準で有意な関係がみられた。

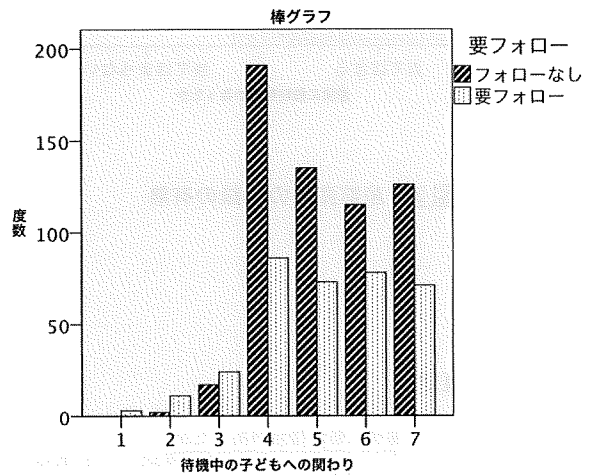


図 29 待機中の子どもへの関わりとフォロー有無の関係

これらの結果から、保健師が問診中や待機中の様子に注目をしている養育者は、フォローになる可能性が高いことが示唆された。

表 36, 表 37 と図 30, 図 31 は産前産後の相談の有無についての回答結果である。

表 36

産前の相談の有無

		産前に個別相談があったか		有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	14	1.5	1.5	1.5
	当てはまら	931	97.0	98.5	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	13	1.4		
	システム欠	2	.2		
	合計	15	1.6		
合計		960	100.0		

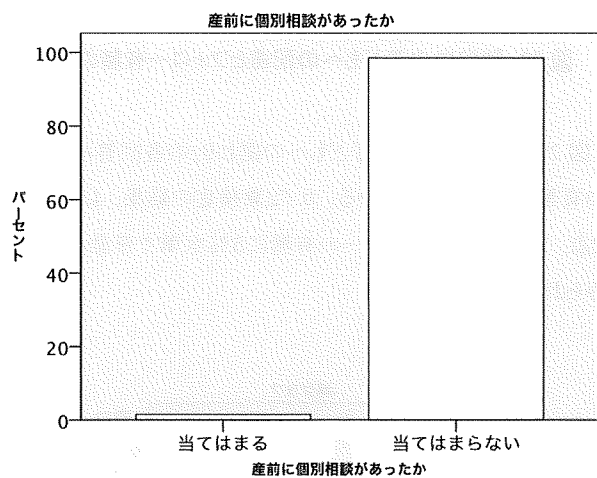


図 30 産前産後の相談の有無

表 37

産後の相談の有無

		産後に個別相談があったか		有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	203	21.1	21.5	21.5
	当てはまら	742	77.3	78.5	100.0
	合計	945	98.4	100.0	
欠損値	99	13	1.4		
	システム欠	2	.2		
	合計	15	1.6		
合計		960	100.0		

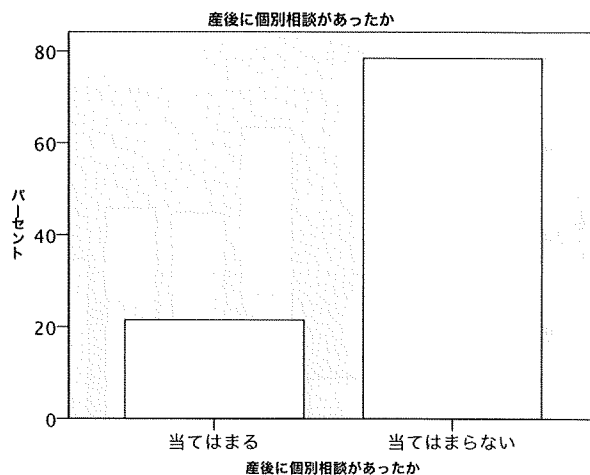


図 31 産後の相談の有無

また図 32 は産前の相談の有無とフォローの有無の関係を示している。カイ2乗検定の結果、産前の相談の有無とフォローの有無に5%水準で有意な関係がみられた。

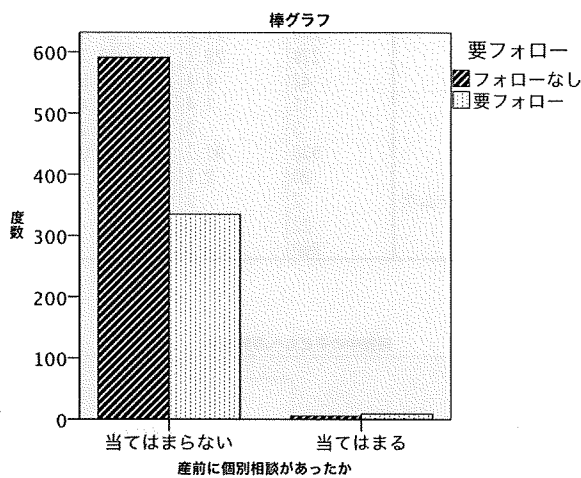


図 32 産前の個別相談の有無とフォローの有無の関係

図 33 は産後の相談の有無とフォローの有無の関係を示している。カイ2乗検定の結果、産後の相談の有無とフォローの有無に1%水準で有意な関係がみられた。

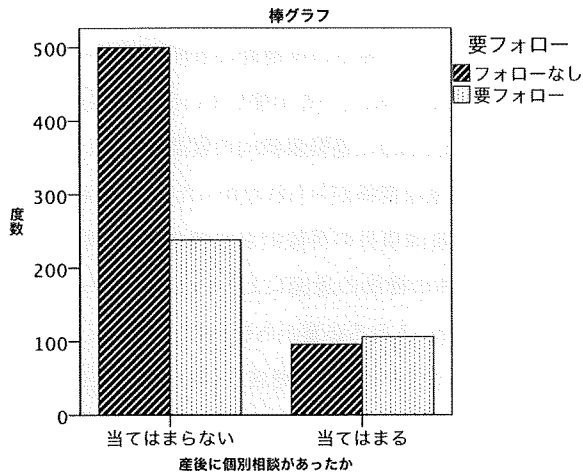


図 33 産後の個別相談の有無とフォローの有無の関係

表 38 と図 34 は生活保護の受給の有無についての回答結果である。

表 38

生活保護の受給の有無

生活保護を受給してるか		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	わからない	283	29.5	30.8	30.8
	受給していない	627	65.3	68.3	99.1
	受給している	8	.8	.9	100.0
	合計	918	95.6	100.0	
欠損値	99	40	4.2		
	システム欠損	2	.2		
	合計	42	4.4		
合計		960	100.0		

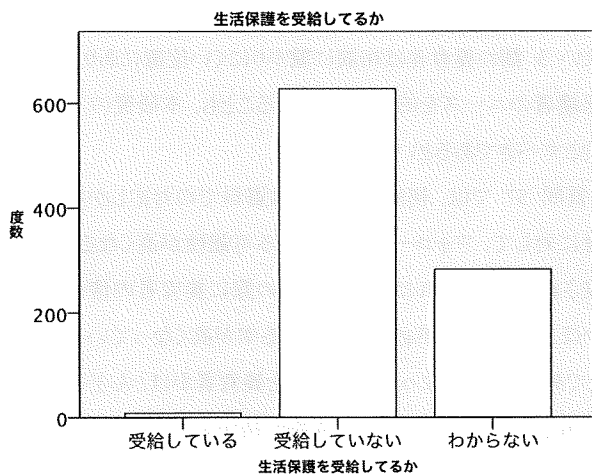


図 34 生活保護の受給の有無

生活保護を受給しているとの回答は全体の 0.8%であった。カイ2乗検定の結果、生活保護を受給しているとの回答と、フォローの有無には5%水準で有意な関係がみられた。

表 39 と図 35 は事後指導者との関係についての回答結果である。

表 39

事後指導者との関係

事後指導者との関係		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	初対面である	516	53.8	54.5	54.5
	事前に打ち合わせしている	66	6.9	7.0	61.5
	以前に健診などで話し合っている	308	32.1	32.5	94.0
	出生時よりよく知っている	57	5.9	6.0	100.0
	合計	947	98.6	100.0	
欠損値	99	9	.9		
	システム欠損	4	.4		
	合計	13	1.4		
合計		960	100.0		

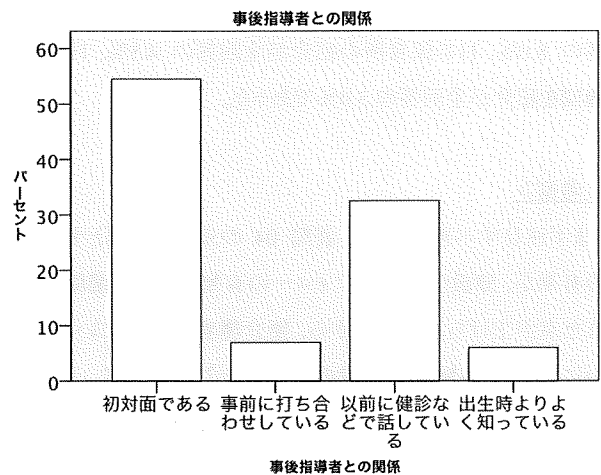


図 35 事後指導者との関係

図 36 は事後指導者との関係とフォローの有無との関係を示している。カイ2乗検定の結果、事後指導者との関係が初対面であるか、事前に打ち合わせをしている関係であった場合、フォローの有無と1%水準で有意な関係がみられた。

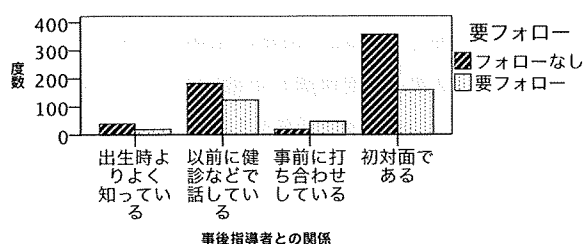


図 36 事後指導と要フォローの関係

質問 58 はA1異常なしの回答が調査協力者全体の 63.4%であった。A1以外の結果では、多い順にE要経過観察精神が全回答の 13.5%、Bの要精検身体が全回答の 7.0%、Dの要経過観察身体が全回答の 6.7%であった。またL発達障害の疑いは全回答の 1.8%、M虐待の疑いは全回答の 0.6%、専門機関で対応済みは全回答の 2.6%であった。

質問 59 はA0特になしが全回答の 63.6%であった。A0以外の対応では、Iその他をのぞくと多い順に、後日電話が全回答の 8.0%、Hの保育所の紹介が全回答の 4.5%、Hの医療機関を紹介が全回答の 3.0%であった。

<考察>

まず注目すべき点として、質問 04 の介護を必要とする家族の有無が、健診受診児のフォローの有無と有意な関係がみられた点が上げられる。ここから、要介護者が家族にどうかによって、保健師が支援の必要性をより強く感じ、子どもだけではなく養育者やその家族の支援も視野に入れた中で、フォローの有無が決定されている可能性が示唆された。

質問 08 では父親教室への参加の有無と、フォローの有無に有意な関係がみられた。これに関連して、質問 51 と質問 52 に関しても、フォローの有無と回答結果に有意な関係が見られた。これは養育者の子育て不安と配偶者の子育てへの参加の程度が関連している可能性、保健師が配偶者の子育てへの参加の程度をフォローの有無を決定する際に重要な情報と考えていることが示唆されたと言えるだろう。

また表 34 に示したように、養育者の子育て不安の確認のための項目では、大多数の項目にフォローの有無によって有意な関係がみられた。このことは、保健師の要フォローの基準

が、本研究が完成を目指す自己記入式調査票の基準と近いものであること、そして現在の保健師の判断をサポートするツールになりうるものであることを示唆していると考えられる。一方、図 25 に示したように過緊張傾向の質問項目だけは、フォローの有無と有意な関係がみられなかった。これは過緊張項目に関しては、質問項目の再検討が必要であると言えるだろう。また各自治体の健診の意図によっては、他のツールを使用することも視野に入れる必要があると言えるだろう。しかし本報告書では提示していないが、地域ごとの分析では過緊張傾向の質問項目とフォローの有無に有意な関係がみられた場合があった。このことから、これらの項目については、地域によって差があることも視野に入れた上で、さらに分析を行う必要があるだろう。

質問 53「問診中の子どもへの配慮」と質問 54「待機中の子どもの関わり」の回答結果は、フォローの有無と強い関係があることが示唆されている。これは、保健師が問診中や待機中の様子に違和感を感じた養育者は、フォローになる可能性が高いことが示唆された。このことは健診場面における支援の基準が、養育者と子どもの関係性も考慮していることを示すとも言えるだろう。

質問 55 からは、産前や産後の相談歴は、フォローの有無と関連があることが明らかとなった。事前に健診スタッフや地域の相談機関と何らかの繋がりがあることが、より支援につながりやすいことを示唆している。質問 07 と質問 08 で、の人が何らかの育児関連の教室に参加した経験がある養育者はおよそ 6 割から 7 割であった。したがって、全く教室に参加したことのない 3 割の養育者は相談に繋がりにくい位置にあり、こうした保護者のニーズを的確に抽出することも、本研究の主要な目的とすべきであるといえるだろう。

質問 57 では、初対面、もしくは資料での対応しかない養育者に対して、フォローが必要される可能性が高くなることが示唆されている。これは、事後指導の際に養育者の情報が少ないほど、フォローが必要と判断する率が高くなっているということである。地域によっては保健師と養育者がほとんど初対面の地域もあることを考えると、情報の補完のためのツールとして本研究が開発しているようなツールが有効であると言えるだろう。

<今後の分析予定・課題>

今年度は既述の通り、新型インフルエンザの影響などもあり、15の自治体ですべての調査を終わらせることができていない。そのために、来年度の調査終了後には、以下の2点について統計的な検討を加え、質問紙を完成させる作業を実施することを予定している。

1つはデータマイニングの手法であるベイジアンネットワークを応用することにより、最終的には回答結果から保護者がどういった点に関してどれだけ支援を必要としているかの推論を可能とするモデルを構築し、そこから実際に健診現場における指針となるツールを開発したい。

また後述する報告会を複数回実施する中で、各自治体の地域差が存在する可能性が示唆されている。2つめの検討内容として、各自治体による地域差がどの程度存在するかについて検討を行いたい。

来年度には、この推論モデルの活用と、個々の事例に沿ってデータの細部の検討の2つの方法を精緻化していくことにより、質問紙を完成させる予定である。

C-4. 報告会の内容報告

今年度は協力自治体2箇所、報告会と研修会を行った。

研修会では、一般的な「発達障害」に関する学習を目的としたものと、自治体の保健師の要望に応える形でのQ&A方式の報告を行った。また協力自治体の結果を説明し、実際に個別の事例をツールの質問項目の回答結果を用いての解説も実施した。

いずれも、「保護者が心配していない場合の説明、介入」や「医療機関を紹介するときの留意点」などを尋ねられることが少なくなかった。さらに「多職種との連携の在り方」についての質問があり、地域で養育者と子どもを支援するうえでの難しさが浮き彫りになった印象がある。

そのため、今回の保護者自己記入式調査票を元にした支援方法の提案は、養育者の問題や子どもの問題だけを明らかにすることではなく、もっとも必要なニーズを把握できるものとして、ひじょうに好評であった。今後、こ

うしたツールの活用方法としての講習会も求められると思われる。

D. 考察

地域によって、子どもの状態やストレスのカットオフ値に違いが認められるが、それこそが、現実の子育て環境と養育者と子どもの関係性を地域・文化的に補完していることと理解できよう。

つまり、差違と地域性は保健師の Sensitivity と連動する可能性がある。すると、従来の地域差という視点からの「一貫したモデル的支援方法の構築の難しさ」は、保健師の土着の Sensitivity により解決していたともいえ、このツールを活用することで、地域別の支援方法が提案できる可能性を示唆したといえよう。

同時に結果から導き出された支援の方向性は、保健師の思いと重なることや、自信ない判断を強化することで結果的に、日々の保健師の Sensitivity を高め、理論武装することに繋がる可能性が示唆された。これは、親支援の必然性に直面した保健師のメンタル危機を解決させる力をもたらすと思われる。

さらに、現状から紡ぎ出された支援を検討していくなかで、優先順位と本当に必要な地域支援のアイテムが浮上する可能性もあろう。それは、サービスの提供の格差を現実的に軽減することへ繋がると思われる。つまり、その地域で実現可能な支援モデルが構築できる。

従来の「障害」発見ツールとの大きな違いは、この健診ツールがストレングスモデルに依拠している点が指摘できよう。

すなわち、子どもの発達に関わるストレス、子育てに関わるストレス、養育者自身のメンタルヘルスの状況、子育て環境に関わるストレス、健診受診の際のストレス、不適切な養育に関わるストレスから養育者のストレス状況が明確になり、さらに保健師からの日常レベルの情報から、生活状況が予測され、どういった状況下で養育が成り立っているかを、明らかにすることで、問題点と、この養育状況にあるストレングスが明確になる。